

◎篠山の未来に馳せる思いは—— 篠山の良さを伝えていきたい

12年間、兵庫県議会議員として県内全域をじっくりと見てきました。篠山は歴史、伝統、文化、環境なども含めて「一番いい所」だと実感しています。一言で言えば「ホッとできるまち、ふるさと丹波篠山」。これが私の心に抱く篠山のイメージです。以前、東京や神戸に出たこともありますが、丹波篠山と言えは、「いい所」「いい人」と言われるほど、外から見たまちのイメージも良く、私自身、大変うれしく感じたものでした。

篠山には、伝統産業や伝統文化、黒大豆などの特産物に代表される多くの農産物、豊かな自然などたくさんの宝物があります。また、京阪神から1時間という交通の利便性に恵まれていますし、温かな人情味にあふれています。こうした篠山の良さを伸ばしながら、未来へとつなげていくことが私の一番の願いです。

◎市民の皆さんに伝えることは—— 「自然」「人」を大切に

平成7年、県議選に立候補したときはJR福知山線の複線化が目前だったため、篠山は三田市や宝塚市などとは違う篠山独自の「らしさ」を生かして発展してほしいと強く願っていました。そこで、「緑のふるさと

2月25日執行の篠山市長選挙で、初当選を果たした酒井市長。翌26日には、篠山市選挙管理委員会・榎尾孝子委員長から当選証書が付与され、新しい市政がスタートしました。

市民の皆さんの大きな期待を肌で感じ、責務の重さを胸に刻んだ酒井市長。今回は、まちづくりへの思いと併せ、市長としての決意を3月2日に伺いましたので、特集としてお伝えします。

思いを聴く

【特集】市長インタビュー

酒井隆明市長

プロフィール ◎さかい・たかあき

1955年岩崎生まれ。中央大学卒。弁護士。1995年6月から2007年2月まで兵庫県議会議員として県民生活委員長や県監査委員などを務める。岩崎在住、52歳

を守りながら、篠山を発展させよう」と呼び掛けてきたのです。この思いは、当選後も絶えず胸に刻み、議員活動に取り組んできました。

私はかつて、青年会議所の活動で「きみのまちにメダカはいますか」という事業を進めたことがあります。これは、メダカを題材にして身近な自然環境を大切にしようと呼び掛けた事業で、当時かなりの反響を呼びました。山や川、農地など、篠山を形造るものは、まちの大切な宝物。だからこそ、今を生きる私たちが大切に守り、未来につないでいかなければならないと思っています。

また、今回の市長選挙では、冒頭でも述べた篠山の宝物とまちの魅力を生かしたいという思いとともに、財政面の健全化を含む篠山再生を提唱してきました。特に、財政面の健全化は市民の皆さんの切実な願いであり、それゆえに篠山再建への期待は限りなく大きいものと受け止めています。私自身、新たな目で篠山再生の道筋をしっかりとつけ、誰もが自信と誇りをもって生き生きと暮らせるまちづくりを、皆さんと一緒に進めていきたいと思っています。

◎まちづくりへの取り組みは—— 市民の目線でともに歩む

「市民の目線で篠山を再生する」これが、私のまちづくりの理念です。「篠山からはじめよう」を合い言葉

に、市民の皆さんとともに、活力ある、住み良いまちづくりを目指します。市政執行方針など具体的な施策は、今後、順次お伝えしますが、まずは財政的な見通しを市民の皆さんに分かりやすく示すとともに、篠山再生市民会議を立ち上げ、市政全般を見直していきます。今後の施策として、何を優先して、何を削るかということは非常に厳しい選択になりますが、将来、篠山が成り立つていくためであることから、ご理解をいただきたいと思います。

また、市民の皆さんに安心して暮らすこと、誇りをもてるまちづくりを皆さんと一緒に進めていきます。この半世紀以上の間に篠山で生まれ育った方々が、数多く都会へ出ていかれました(向都離村)。一方、市の周辺では少子・高齢化問題が一層深刻となっており、今後、集落そのものを維持していくことに困難を来しつつあります(限界集落)。こうした

状況をもしっかりと見つめ、企業の誘致や支援、農業後継者の育成などで若者の定着を図るとともに、篠山を出られた方や篠山で住みたい方に来てもらえるよう、「篠山に帰ろう」、住もう運動を進めていきます。さらには、現在直面している兵庫医大篠山病院の存続問題や小学校の適正配置などの教育問題、地域の活性化など、山積する課題に取り組んでいきます。

◎市長としての決意は—— 皆さんの声を決して忘れない

市長としての重く崇高な責務を全体で感じ、使命の重大さを実感しています。これから4年間、誠心誠意、すべてをかけて篠山市が将来、健全に発展するよう努力していきます。

私は、これまでから行っている「まちづくり学習会」や「地区別懇談会」、そして、今回の市長選挙活動において、市民の皆さんからは将来の不安

やまちづくりへの熱い思いなど、正直な気持ちをお聞きすることができました。この経験と皆さんの心からの声を決して忘れることなく、農業者の皆さんが汗水流してこしらえた米俵のように、一俵(一畝)の重さを胸に刻み込み、まちが抱えるさまざまな課題やまちづくりに真摯に取り組んでいきます。

◎市民の皆さんにメッセージを—— 一意専心、全力を傾注する

市長に就任させていただいたことに、あらためて心から感謝しています。今後は、篠山市の新たな取り組みとして、市民の皆さんの熱い期待に応えられるよう、一意専心、全力を傾注していく決意です。篠山の再生は一人ではできませんので、大切な課題は皆さんと考え、決めていくというスタンスを取り、誰にも分かりやすく、皆さんと対話のできる市政を心掛けていきます。ぜひとも、皆さんからのまちづくりのご意見やアイデアをお願いします。

市政執行方針や平成19年度予算(暫定予算含む)などの概要については、今後、順次掲載する予定です。

